

トラッキング調和

SAP Business Network Freight Collaboration と SAP
Business Network Global Track and Trace



アジェンダ

1. イントロダクション
2. 新しいアプリ '運送実行管理'
3. **FC** と **GTT** で将来的にサポートされるユースケース
4. **FC** 荷主と **GTT** ソリューションオーナーにとって、これは何を意味しますか。
 - a) 基本追跡を使用する **FC** 荷主
 - b) データ提供者との **B2B** 接続を介して作業する **GTT** ソリューションオーナー
 - c) **GTT** ソリューションオーナーは、高度な追跡機能を活用して、一部のデータ提供者および **FC** 荷主に **Web UI** を介してレポートを依頼することを計画しています。
5. これは運送業者にとって何を意味しますか。
 - a) レガシー 'レポート対象の運送業者運送指図' アプリを使用する運送業者
 - b) **API** または **EDI** を介して接続する運送業者またはデータ提供者
 - c) **Web UI** を介したレポートに新しく必要な運送業者またはデータ提供者
6. 詳細情報の入手先

イントロダクション

紹介：トラッキングの調和、LFA-E-96

イノベーション対象：荷主および運送業者 (FC)、ソリューションオーナー、およびデータ提供者 (GTT)

イネーブルメントモデル：自動的に有効化されますが、ユーザーは新しいアプリケーションに切り替えるタイミングを自分で決定できます。
*。

機能の説明：

SAP Business Network for Logistics で調和のとれた追跡エクスペリエンスを確立します。現時点では、機能は SAP Business Network Freight Collaboration (FC) - Order Management and Dock Appointment Scheduling - および SAP Business Network Global Track and Trace (GTT) に分散されています。

将来的には、新しい '**運送実行管理**' アプリケーションの **Web UI** を介したマニュアルイベントレポートのトラッキング情報および共通のルックアンドフィールの一元的なテーブルが提供されます。**FC** および **GTT** でサポートされるトラッキングシナリオが改善されました。

現在のアプリ '**運送移動トラッキング**' (FC で荷主が利用可能) および '**レポート対象の運送業者運送指図**'

(FC で運送業者が使用可能) は新しいアプリに置き換えられ、**2026 年 5 月に非推奨になる予定です。**

* 旧アプリケーションは、非推奨になるまで引き続き使用することができます。 4

追跡の調整

ソリューション: SAP Business Network Freight Collaboration および SAP Business Network Global Track and Trace

ソリューションエリア: 追跡実行

ペルソナ: 荷主および運送業者 (FC)、ソリューションオーナーおよび運送業者 (GTT)



主な利点:

荷主は、シップメント実行に関するインサイトを取得し、拡張された新しい '運送実行管理' アプリケーションを使用してロジスティクス実行イベントをレポートできるようになりました。

運送業者 (FC および GTT) は、計画イベントおよび計画外イベントをレポートし、新しい '運送実行管理' アプリケーションで他のビジネスパートナーによってレポートされたイベントを表示することができます。

ソリューションオーナーは、で **Web UI** を介して運送業者からレポートされたイベントを確認することができます。

'シップメントトラッキング' アプリケーションを管理することができます。

新しいアプリ '運送実行管理'

ユーザーストーリー - 荷主向けの運送実行管理アプリ

シップメント実行に関するインサイトを取得して、運送実行を効率的に管理しながら、イベントの受信方法に柔軟に対応する必要があります。



運送実行を効率的に管理したいと考えています。**Web** インタフェースを介して、または **API** を介して **B2B** を使用してイベントをマニュアルでレポートするかどうかについて、ビジネスパートナーが柔軟に対応する必要があります。さらに、ビジネスパートナーに代わってイベントをレポートできるようにします。

新しいアプリケーション '運送実行管理' では、以下を実行することができます。

- 運送業者のマイルストーンの表示
- 計画イベントおよび計画外イベントのレポート
- 見積または遅延のレポート
- イベント履歴の表示

- 添
付

ファイルの表示

ユーザストーリー - Web ポータルアプリケーションによるイベントのレポート

簡単にイベントを報告したい。



ラー・キ
ヤリア

運送実行のイベントレポートは簡易である必要があります。**B2B** 統合を使用してレポートするか、**Web** インタフェースを介してマニュアルでレポートするかを柔軟にする必要があります。

新しいアプリケーション「運送実行管理」では—**Web** ベースのアクセスを使用して、以下を行うことができます。

- マイルストーンイベントのレポート
- 見積を含む計画イベントおよび計画外イベントのレポート
- ドキュメントレベルまたはイベントレベルでの遅延のレポート

- イベ

ント履歴の表示

以下のビデオでは、作業方法について説明します。

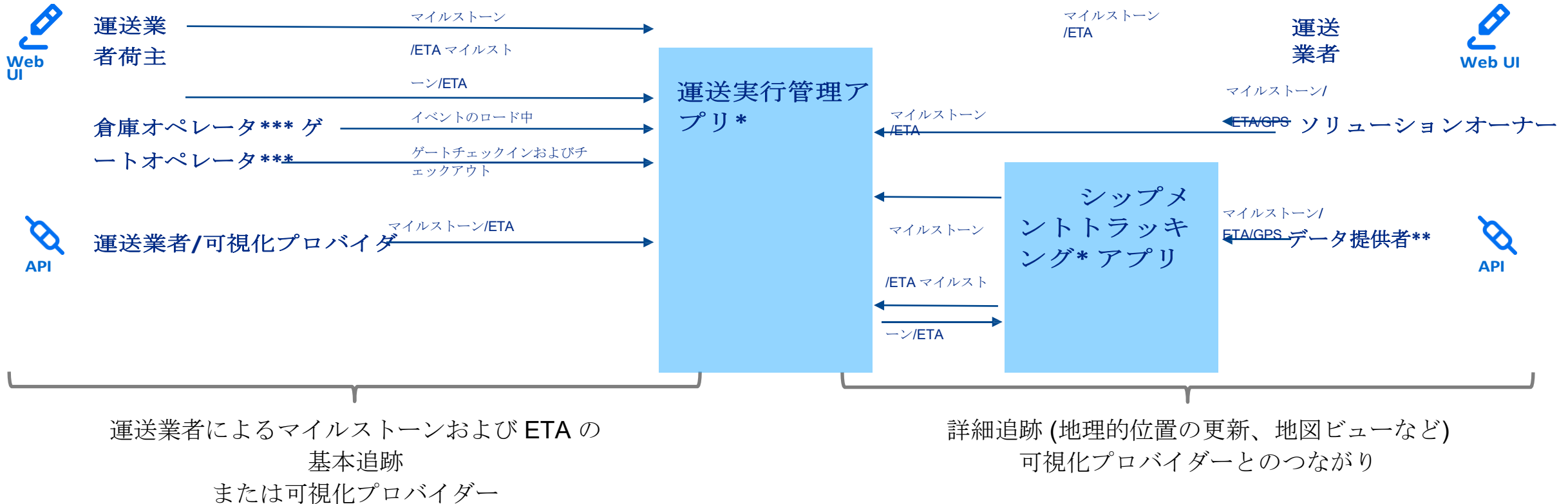
'運送実行管理' アプリを使用

FC と GTT で将来的にサポートされるユース
ケース

'運送実行管理' アプリ使用時のユースケースの区別

SAP Business Network Freight Collaboration

SAP Business Network Global Track & Trace



* '運送実行管理' アプリを介したイベントレポートの追跡は、**S/4HANA**、外注 (運送業者運送指図のみ)、または **SAP Business Network Global Track and Trace** を介して開始することができます。イベントが **S/4** と同期されます。追跡 **S/HANA** から 'シップメントトラッキング' アプリケーションを使用して開始され、**S/4** に同期されます。

** データ提供者は、可視化プロバイダまたは運送業者です。

*** 'Dock Appointment Scheduling' アプリケーションによるレポートイベントは '運送実行管理' アプリに伝播されます。

詳細比較 - 前と後

SAP Business Network Freight Collaboration

機能	輸送モード	ビジネスパートナ	現在のオプション	2511 より後のオプション
Web UI によるマイルストーンおよび ETA レポート	陸路	運送業者	✓	✓
Web UI によるマイルストーンおよび ETA レポート	海上	運送業者	✗	✓
Web UI によるマイルストーンおよび ETA レポート	陸上、海上	荷主	✗	✓
マップビュー ('運送移動トラッキング' アプリケーション)	陸上、海上	荷主	✓	✗
API によるマイルストーンおよび ETA レポート	陸上、海上	運送業者	✓	✓
API によるマイルストーンおよび ETA レポート	陸上、海上	可視化プロバイダ	✓	✓
API による地理空間レポート	陸上、海上	運送業者	✓	✗
API による地理空間レポート	陸上、海上	可視化プロバイダ	✓	✗
Web UI によるレポートのロードおよびアップロード	陸路	倉庫オーナー	✓	✓
Web UI によるチェックインおよびチェックアウトレポート	陸路	ゲート操作者	✓	✓

詳細比較 - 前と後

SAP Business Network Global Track and Trace

機能	輸送モード	ビジネスパートナ	現在のオプション	2511 より後のオプション
Web UI によるマイルストーンおよび ETA レポート	道路、海上、航空、小包	運送業者	×	✓
Web UI によるマイルストーンおよび ETA レポート	道路、海上、航空、小包	ソリューションオーナー	✓	✓
マップビュー (すべてのフルフィルメントトラッキングアプリケーション)	道路、海上、航空、小包	ソリューションオーナー	✓	✓
API によるマイルストーンおよび ETA レポート	道路、海上、航空、小包	データ提供者*	✓	✓
API によるマイルストーンおよび ETA レポート	道路、海上、航空、小包	ソリューションオーナー	✓	✓
Web UI による地理空間レポート	道路、海上、航空、小包	データ提供者*	×	×
Web UI による地理空間レポート	道路、海上、航空、小包	ソリューションオーナー	✓	✓
API による地理空間レポート	道路、海上、航空、小包	データ提供者*	✓	✓
API による地理空間レポート	道路、海上、航空、小包	ソリューションオーナー	✓	✓

* データ提供者は可視化プロバイダまたは運送業者です。22

FC 荷主と **GTT** ソリューションオーナーにとって、これは何を意味しますか。

既存顧客向けの変更と推奨される次のステップ

基本追跡を使用して **SAP Business Network Freight Collaboration** にサブスクライブしている顧客

- バックエンド更新における整合性の拡張
- 運送業者と荷主は、**Web UI** の '運送実行管理' アプリを使用して、マイルストーン、**ETA**、および計画外イベントをレポートすることができます。
- 海上運送トラッキングを利用可能

イネーブルメントステップ

1. ビジネスユーザに新規アプリケーションについて通知し、新規ロールテンプレートをロールコレクションに追加する
2. 新しいアプリ '運送実行管理' への切替
2026 年 5 月より前
3. 運送業者に新しい '運送実行管理' アプリケーションを使用するよう促す

SAP Business Network Freight Collaboration に登録しているが、高度な追跡を活用したい顧客

- 異なる **SKU** 間の整合性の強化およびシステム
- 運送業者と荷主は、**Web UI** の '運送実行管理' アプリを使用して、マイルストーン、**ETA**、および計画外イベントをレポートすることができます。
- 地理的位置の更新およびマップビューのサポート終了

有効化の手順:

1. 高度な追跡のための **SAP Business Network Global Track and Trace** へのサブスクライブ*
2. **Web UI** から運送業者レポートを有効化する場合のシステム設定 (スライド 9 および 10 の詳細を参照)
3. 新規アプリケーションについてビジネスユーザに通知します。

SAP Business Network Global Track & Trace をサブスクライブしている顧客

- '運送実行管理' によるイベントレポート
運送業者向けアプリ **Web UI**
- ソリューションオーナーは、によってレポートされたイベントを確認することができます。
運送業者は、'シップメントトラッキング' アプリで **Web UI** を使用
- **IDoc** 抽出機能を使用しない **SOAP** メッセージ
TransportationOrderGenericTrackRequest_out もサポートされます (限定範囲、スライド 9)

4. およびロールコレクションへの新規ロールの追加
新しいアプリ '運送実行管理' への切替
2026 年 5 月より前
5. 運送業者に新しい '運送実行管理' アプリケーションを使用するよう促す

有効化の手順:

- 1. システム設定 (Web UI から運送業者レポートを有効化する場合) (スライド 9 および 10

- 2. の詳細を参照)
要求された場合、'運送実行管理' アプリを使用してイベントをレポートできることを運送業者に通知します (得意先がイベント

レポートに API を利用するだけの場合は影響はありません)。

* 既存の FC 統合を可視化プロバイダと再利用することができます。 24

基本追跡を使用する **FC** 荷主

有効化のステップと注記

基本追跡を使用して **SAP Business Network Freight Collaboration** にサブスクライブしている顧客

管理者ユーザは、新しいロールコレクションを作成するか、新しいロールテンプレート '**ManualReportingDisplayTemplate**' および '**ManualReportingProcessTemplate**' を既存のロールコレクションに追加する必要があります。既存のロールコレクションに追加されると、そのロールコレクションのユーザにアプリへのアクセス権が付与されます。新しいロールコレクションが作成された場合は、そのロールコレクションにユーザを追加する必要があります。*。

Select: Role

Role Name:

Role Template:

Application Identifier:

lbn-manualreporting-servicebroker-live!b1590

Roles

☐	Role Name	Role Template	Application Identifier
☐	ManualReportingDisplayTemplate	ManualReportingDisplayTemplate	lbn-manualreporting-servicebroker-live!b1590
☐	ManualReportingProcessTemplate	ManualReportingProcessTemplate	lbn-manualreporting-servicebroker-live!b1590

Selected Roles (0)

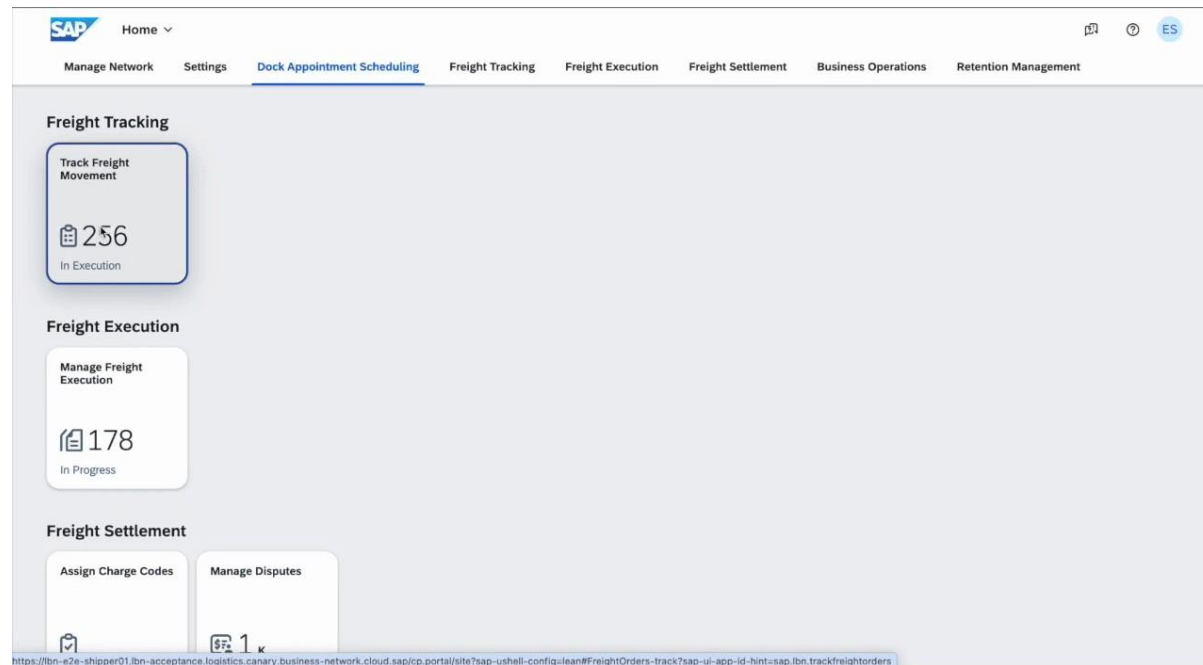
AddCancel

できるだけ早く、新しいアプリケーション '運送実行管理' の使用を開始してください。ただし、旧アプリケーション 'レポート対象の運送業者運送指図' および '運送移動トラッキング' は、非推奨になるまで引き続き使用することができます。

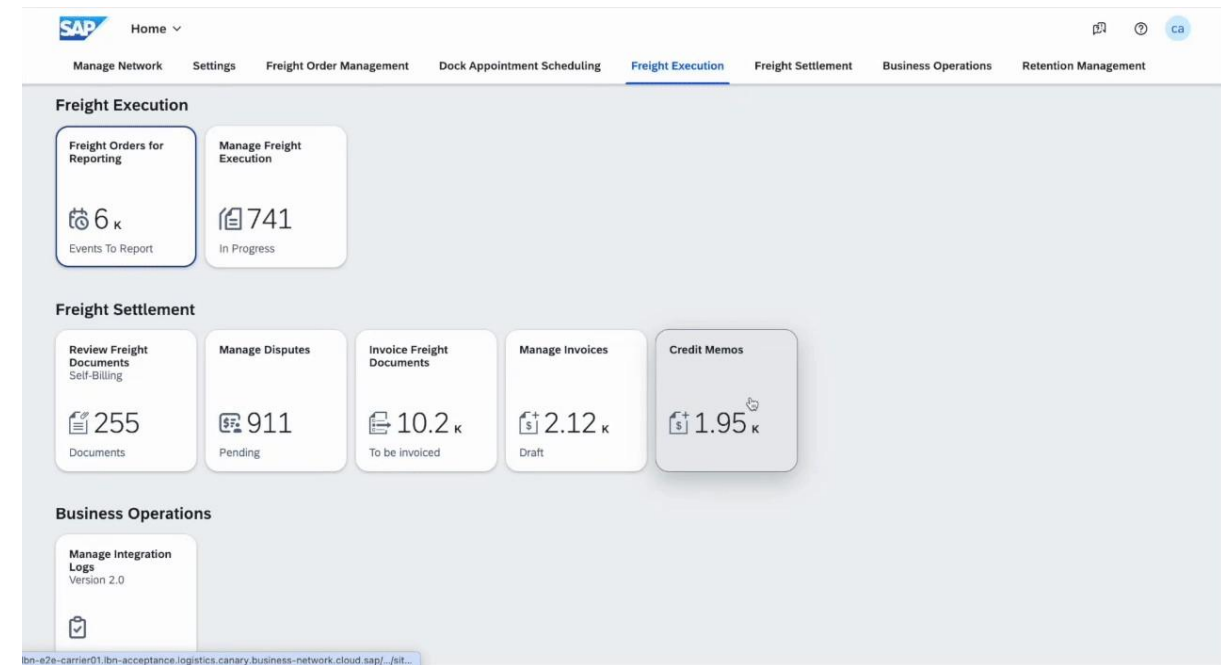
* **SAP** は、運送業者の本稼動テナントにおける運送業者のロールコレクションを拡張する。ただし、テストテナントでは、荷主はテスト運送業者のロールを拡張する必要があります。

旧アプリの非推奨化

荷主運送移動トラッキングアプリ



レポート対象の運送業者運送業者運送指図



運送伝票レポートオプション

運送伝票タイプ	レポート方法	設定	変更:
陸上運送業者運送指図	マニュアル	外注/GTPRO	変更なし
	API	GTPRO が必要	変更なし
海上運送予約	マニュアル	GTPRO が必要	新機能
	API	GTPRO が必要	変更なし

システム接続またはパーソナル接続設定に関する変更なし

GTT ソリ ュー シ ョ ン オ ー ナ ー は、 デ ー タ 提
供 者 と の **B2B** 接 続 に よ っ て の み 作 業 し ま す

。

GTT ソリューションオーナーは、データ提供者との **B2B** 接続によってのみ機能します。

拡張機能は、現在のユースケースには影響しません。変更や次のステップは必要ありません。

GTT ソリューションオーナーは、一部のデータ提供者および
高度なトラッキングを活用した **FC** 荷主

SAP Business Network Freight Collaboration に登録しているが、高度な追跡を活用したい顧客

SAP Business Network Global Track & Trace をサブスクライブしている顧客

有効化ステップおよび注記 1

1. SAP Business Network Global Track and Trace にサブスクライブして[オンボーディングしておきます](#)。
2. GTT で運送伝票を追跡する方法を決定します。
 - オプション 1: 標準 IDoc を使用して TM 伝票を GTT に送信します (推奨*)。詳細については、[標準抽出機能コード](#)の使用を参照してください。
 - オプション 2: SOAP メッセージ (TransportationOrderGenericTrackedProcessRequest_Out) で TM 運送業者運送指図/運送予約を GTT に送信できるようにする (カスタマチケット経由、コンポーネント SBN-LBN-INT)**
3. S/4HANA から BN4L [のロケーション](#)マスタへのロケーションの[複製](#)
- 4. 'システム接続' アプリで[システム ID および論理システム ID を更新してください](#) (スクリーンショットを参照)

QW9/170

QW9_170

Activate Connections Configure Document Links

Created By: gtt_apps@163.com Created On: May 16, 2025 Inbound Status: Active Outbound Status: Active Logical System ID: QW9CLNT170

システム

論理システム



SAP Business Network Global Track and Trace に加入している顧客に適用されるステップ。

- *長所 : FU、複数のトラッキング単位（コンテナなど）、**S/4** からレポートされたイベント、カスタマイズされたイベントレポートを含む高度な追跡をサポートしますが、追加の設定が必要です。
- ** 長所: この **SOAP** メッセージを運送移動トラッキングアプリですでに使用しているものの、範囲が限定されている場合 (例: 1 つのトラッキング対象オブジェクト (例: シップメントごとに **1** コンテナ) の **FO** および **FB** のみ) は、労力が軽減されます。

SAP Business Network Freight Collaboration に登録しているが、高度な追跡を活用したい顧客

SAP Business Network Global Track & Trace をサブスクライブしている顧客

有効化ステップおよび注記 2

6. Web UI による運送業者マニュアルレポートの設定

- 運送業者オンボーディング [ガイド](#) を介してオンボーディングを行う運送業者を [招待](#) します (注記: 運送業者のオンボーディングチームに連絡して、運送業者 LBN ID と運送業者 ID (例: 可視化プロバイダサービスを利用するための SCAC コード。または、'パートナー接続設定' アプリのカスタムヘッダで代替 ID を更新します (キーとして "LBN_CUSTOM_CARRIER_ALT_ID" を入力し、値として "SCAC#1234" を入力します))。)
- ビジネスパートナマスタで運送業者の LBN ID を更新します ([S/4HANA でのビジネスパートナ LBN ID の更新](#) など)。
- gttft1 モデルで、イベント-アクションスクリプトの carrierListForManageFreightExecution 値の運送業者 LBN ID を更新します。
- '運送実行管理' アプリと同じ方法でイベントを処理するには、イベントステータスを 'モデル管理' アプリの実際の技術タイムスタンプによってトリガされる - [トラッキング対象プロセスの編集](#) を参照
- 'パートナー接続設定' アプリでエントリを調整します。たとえば、以前に更新された "SCAC#1234" は LBN ID で置換 - ['パートナー接続の登録'](#) を参照

にアプリへのアクセス権が付与されます。
。新しいロールコレクションが作成された場合は、そのロールコレクションにユーザーを追加する必要があります。

▼ User Script Before Standard Script

```
1 carrierListForManageFreightExecution = ["ALL"];  
  
1 carrierListForManageFreightExecution = ["LBN#10010001262", "LBN#10002419"];
```

FT1_SHIPMENT

Affect Planned Event Status By: *

Actual Technical Timestamp

7. 荷主が '運送実行管理アプリ' を使用する準備を行う (オプション)

- 管理ユーザは、新しいロールコレクションを作成するか、新しいロールテンプレート 'ManualReportingDisplayTemplate' および 'ManualReportingProcessTemplate' を既存のロールコレクションに追加する必要があります。既存のロールコレクションに追加されると、そのロールコレクションのユーザー

General Information

Business Partner ID type: *
SCAC
Business Partner ID Value: *
XXXX

General Information

Business Partner ID type: *
LBN ID
Business Partner (LBN ID): *
GTT Data Contributor 03 (11010001206)

"シップメント" のトラッキング対象プロセスの編集

LBN ID のすべての運

定義された運送業者を

● SAP Business Network Global Track and Trace にサブスクライブしているお客様に適用されるステップ。
35

前提条件、制限事項、注意事項

顧客ユースケースごとの追加

SAP Business Network Global Track & Trace をサブスクライブしている顧客

制限

- 期日超過は **GTT** から '運送実行管理' アプリに転送されません
- シップメントトラッキングアプリでは、さまざまなソースからレポートされたすべてのイベントを表示することができます。一方、'運送実行管理' アプリでは、事前定義されたイベントのみを表示できます。
- ユーザ定義モデルはサポートされていません (現在、標準 **gttft1** モデルによるマニュアルレポートのみがサポートされています)。
- **POD** (出荷証明) および **POPU** (ピックアップ証明) イベントには添付文書が含まれている必要があります
- 各シップメントには少なくとも **2** つの地点が必要であり、各地点には計画イベントが必要です
- 特別な場所の作成はサポートされていません

注意

- 運送業者 **ID** と運送業者 **LBN ID** のマッピングは、運送業者と可視化プロバイダの両方でイベントをレポートする場合に不可欠です。インシデントを登録するか、運送業者オンボーディングチームに連絡し、**SCAC**、**DUNS**、**MAC ID** などの有効な運送業者 **ID** を入力してください。それ以外の場合は、運送業者ごとにこのようなマッピングを

uber corp (10002419) Delete

LBN ID

Business Partner (LBN ID):*

uber corp (10002419)

Network Partner (LBN ID):

data-contributor-05 (10010001107)

Service:*

Shipment Road Tracking FTL

Business Partner Credential:

Network Partner Credential:

Custom Headers

Headers (1) +

Key:*

LBN_CUSTOM_CARRIER_ALT_ID

Value:*

SCAC#XXXXX

'パートナー接続設定' アプリのカスタムヘッダセクション。

* 一般的に適用される前提条件、制限、および注意事項は、スライド 11 に記載されています。

可視化プロバイダ (API 経由) と運送業者レポートイベント (webUI 経由) の両方
を使用する場合
パートナ接続の設定

General Information

Business Partner ID Type: *

SCAC

Business Partner ID Value: *

XXXXX

Network Partner (LBN ID): *

data-contributor-05 (10010001107)

Service: *

Shipment Road Tracking FTL

Business Partner Credential:

Network Partner Credential:

Custom Headers

Headers (0)

LBN ID

Business Partner (LBN ID): *

uber corp (10002419)

Network Partner (LBN ID):

data-contributor-05 (10010001107)

Service: *

Shipment Road Tracking FTL

Business Partner Credential:

Network Partner Credential:

Custom Headers

Headers (1)

Key: *

LBN_CUSTOM_CARRIER_ALT_ID

Value: *

SCAC#XXXXX

運送業者が WebUI を介してイベントのみをレポートする場合

パーソナル接続設定アプリで
変更を行う必要はありません。

これは運送業者にとって何を意味しますか。
。

レガシー'レポート対象の運送業者運送指図'
アプリを使用する運送業者

レガシー 'レポート対象の運送業者運送指図' アプリを使用する運送業者

現在 'レポート対象の運送業者運送指図' アプリを使用している運送業者は、**2026 年 5 月**に非推奨になる前に十分な時間を取って、新しい '運送実行管理' アプリの使用をできるだけ早く開始する必要があります。

アプリの使用方法に関する運送業者向けの詳細なハウツービデオについては、[ここ](#)を参照してください。

The screenshot displays the SAP Manage Freight Execution interface. At the top, the header shows the SAP logo and the title 'Manage Freight Execution'. Below this, the main header area contains the execution ID '6100083907' and the description 'Pat Warehouse Pvt Ltd. to Pat Warehouse Pvt Ltd.'. To the right of the ID, it indicates 'Last updated at 12:29 AM' and provides buttons for 'Report' and 'View Event History'.

The main content area is divided into several sections:

- Carrier Information:** Carrier: LBN-EZE-CARR-01 LBN EZE Test Carrier 01. Mode of Transport: Road. Execution Status: In Transit. Reporting Status: Reporting in Progress.
- Departure Location:** Pat Warehouse Pvt Ltd. (Sept 22, 2025, 3:30 AM UTC+53).
- Arrival Location:** Pat Warehouse Pvt Ltd. (Oct 3, 2025, 6:00 PM UTC+53).
- Current Status:** As Planned. Running Late by 3 days 0 hours.

Below these details is an 'Events Overview' section showing a bar chart with 6 planned events and 2 completed events.

The bottom section is divided into three columns of detailed information:

- General Data:** Carrier: LBN-EZE-CARR-01 LBN EZE Test Carrier 01. Bill of Lading: -. Mode of Transport: Road.
- Terms and Conditions:** Incoterm Location: BT_R_MOSCOW. Movement Type: -. Shipping Type: Full Truck Load. Traffic Direction: -.
- Cargo Information:** Weight: 120 KGM. Volume: 190 LTR. Quantity: -. Container ID: -. Dangerous Goods: True.

At the very bottom, there are two tabs: 'Voyage' and 'Transportation'.

API または **EDI** を介して接続する運送業者またはデータ提供者

API または EDI を介して接続する運送業者またはデータ提供者

現在 **API または EDI** を使用してレポートしている運送業者およびデータ提供者については、**変更はありません。**

Web UI を介したレポートに新しく必要な
運送業者またはデータ提供者

Web UI を介したレポートに新しく必要な運送業者またはデータ提供者

荷主/ソリューションオーナーからの通知を待機します。

SAP Business Network for Logistics に有効なアカウントがない運送業者は、荷主またはソリューションオーナーからネットワークに参加するための招待を受信します。招待の受信後にアカウントを有効化するための詳細なガイドについては、[こちら](#)を参照してください。

さらに、荷主またはソリューションオーナーは、新しい '運送実行管理' アプリを使用してレポートする場合は、運送業者に通知する必要があります。運送業者の管理者は、'ユーザ管理' アプリで必要なロールを割り当て、関連するビジネスユーザに通知する必要があります。

'運送実行管理' アプリの使用に関する運送業者向けのステップバイステップのチュートリアルビデオは以下のとおりです。

[ここ](#)からアクセスできます。

詳細情報の入手先

詳細情報の入手先



[SAP Help Portal - 新機能](#)

[調和の追跡に関する SAP Community ブログ追跡調](#)

[和機能の詳細デッキ](#)

[「運送実行管理」アプリに関する運送業者のハウツービ](#)

[デオ SAP Business Network Freight Collaboration L2](#)

[SAP Business Network Global Track and Trace L2](#) [SAP](#)

[Business Network for Logistics 入門](#)

ありがとうございます。

質問にお答えいただければ幸いです。

フォローしてください



www.sap.com/contactsap

© 2025 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も **SAP SE** または **SAP** 関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式、目的を問わず、複写、または送信することを禁じます。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。**SAP SE** 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は **SAP SE** または **SAP** 関連会社が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、**SAP** またはその関連会社は文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。**SAP** または **SAP** 関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、**SAP SE** またはその関連会社は、本書または関連文書に概説された事業の実現、またはそこに記載されたいかなる機能の開発またはリリースに対する義務も負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び **SAP SE** 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、**SAP SE** 若しくはその関連会社は、随時、理由の如何を問わずに事前の予告なく変更できるものとする。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。本書に記載される **SAP** 及びその他の **SAP** の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における **SAP SE**（又は **SAP** の関連会社）の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する詳細の情報や通知に関しては、www.sap.com/trademark をご覧ください。